

夏休み！砂金採りでひんやりなひととき

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

むかしの人はどうやって、金鉱石をとったんだろう？

じつは、金をとるにはすつこくたくさんの作業が必要だったんだよ。博物館では、「湯之奥金山遺跡」で発見されたものから、五百年前の人たちがどうやって金をとっていたのか（鉱山作業）、どのように暮らしていたのかを紹介。

砂金採り体験室では、「汰り分け」という鉱山作業のひとつを体験できるんだ。砂の中から、金が重いことや水の力を使って金のつぶ（砂金）を見つけしていくよ。とった金はおうちに持って帰ることができるとても楽しい体験☆



金 山 ク イ ズ

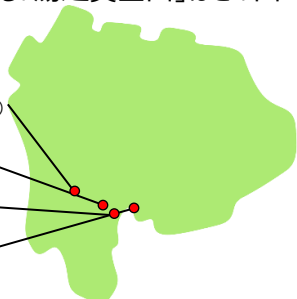
何問できるかな？

※こたえは、このページのさいごにあるよ

第1問

博物館が紹介している「湯之奥金山」はどの山にあるでしょうか？

- ① 富士見山 (1640m)
- ② 醍醐山 (634m)
- ③ 毛無山 (1964m)
- ④ 富士山 (3776m)



第2問

湯之奥金山がある山は、第1問で正解の山の名前のほか、国道52号線からみると、ある動物の形に似ていることから「○○山」とも呼ばれているよ。その動物は何？



- ① タヌキ
- ② ライオン
- ③ キリン
- ④ コウモリ



第3問

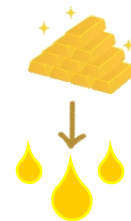
砂金採り体験室では、むかしの人の作業を体験し、たくさんの砂の中から金を見つけます。では、砂の中から金を取りだすには何をつかうでしょうか？

- ① 火
- ② 風
- ③ 水
- ④ 光



第4問

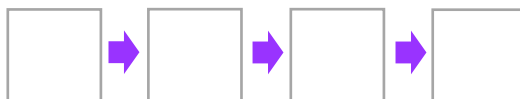
水は0℃で固体(氷)から液体(水)に、100℃で気体(水蒸気)になるように、温度によって状態が変わります。金が固体(かたまりの状態)からドロドロにとけるの温度はどれくらい？



- ① 660℃
- ② 961℃
- ③ 1064℃
- ④ 1536℃

第5問

金鉱石から金を取り出す作業の順番を正しく並べかえてみよう。



A 汰り板という道具で、金の重さを利用して金をとりだす



B 山から金鉱石をとる



C 汰り分けた金を高温で溶かして粒にする



D 石臼で鉱石を粉にする

ご利用案内

<開館時間> 午前9時～午後5時(最終受付は午後4時 30 分)

ただし、7月 25 日(土)、7月 26 日(日)は午後6時まで開館！(最終受付は午後5時 30 分)

<休 館 日> 毎週水曜日(祝日の場合はその翌平日)、12/26～翌年 1/1



▲詳細は公式HPへ

☆クイズのこたえ☆
第1問: ③ 毛無山の標高は1964m
第2問: ④ コウモリ(形に似ているから)
第3問: ③ 金(重さを利用して水を流して砂金をとる)
第4問: ③ ちみなみ①はアフリカ②は南米④はオーストラリア
第5問: B→D→A→C(砂金採り体験室では、この順番で作業をする)